

# 第5期 1回目授業

## ～入学式～

開式のことば

新規入学生 呼名

お祝いのことば 丸山校長

お祝いのことば 松田上板町長

校歌斉唱

閉式のことば



## ～1時限目 阿波製紙(株) 三木 康弘 先生 阿波製紙100年の歩み～



紙は、常に新しいモノを創っていかないといけない。  
挑戦しつづけることが大事。誰よりも一生懸命、誰よりも諦めない。  
→その戦いに勝ったモノが商品になる。

【阿波製紙の歴史】 大正5年設立

三木社長の祖先は、松茂町にある藍商人だった。(明治頃)

製紙とは、水がキレイ・豊富、山があること(原料)が大事→四国が和紙の産地だった。しかし、手すきなので大量に作ることが出来なかった。→機械化で大量生産。機械抄きの和紙が生まれた。徳島県初の機械抄和紙メーカーとして阿波製紙が設立した。(株主の過半数は、かつての藍の豪商の方々だった)

### ◆「KAMIに出来ないことはない」

藍から和紙へ、そして特殊紙へ。「紙は文化のバロメーター」

私たちの暮らしの中で活躍する機能材(光や電波をコントロールする・食品の安心や安全を追及する・音をコントロールする・力強さを追求する・自然環境を守る・熱をコントロールする)



◆所行無常 栄枯盛衰 「起業は永遠を目指す、事業は限界がある」

◆時代の変化への挑戦 「藍から和紙、特殊紙、機能紙、・・・」



### 【阿波製紙の沿革】

機械抄き和紙の製造開始・・・書道用半紙は全国25%のシェアを占有  
和紙から特殊紙へ・・・コットンリスター紙の用途展開→パーチメント紙やセルロイド製品へ  
自動車部品市場へ参入・・・自動車エンジン用濾紙の開発スタート・鉛蓄電池用セパレータ原紙の開発  
不織布市場へ参入・・・ポリエステルシートPURELY（100%ポリエステルシート）を発売  
ハウスラップシートに使われる100%ポリオレフィン紙を発売  
水処理試乗へ参入・・・ポリエステル紙PURELYを逆浸透膜支持体として大手膜モジュールメーカー  
と共同開発（世界のRO膜支持体シェア50%を占める）  
特殊紙の用途展開・・・電気蚊取マット用原紙を開発してオンリーワン商品となる  
建材市場への参入・・・化粧板原資・床材や壁紙原紙  
そして、さらなる飛躍へ・・・  
MBR（膜分離活性汚泥法）用浸透膜を開発→水処理関連市場の川下展開。  
M-fine を活かした快適トイレの提案（廃水処理水を再利用して、水道や電源のいらぬ水洗式トイレ）  
電気・電子部材市場へ参入・・・炭素繊維複合材料



**KAMIにできないことはない！！**

<環境・水処理・新エネルギー・医療福祉・健康・住宅・自動車・電気・食品・航空・宇宙 など・・・>  
今もヒントを探している途中。

阿波製紙は、未来に向けてKAMIの可能性を追求している。

◆地域社会への貢献 祭り・スポーツ（サッカー、野球、マラソン）等への協賛  
ネーミングライツによる地域振興  
地域清掃ボランティア など

徳島の企業として、徳島を元気にしていきたい！！

次の世代に繁栄していくために・・・

### ～交流会～



在校生と新入生のグループを作って、  
みんなで自己紹介をして交流しました！  
今回も生徒さん手づくりの美味しいご飯が♪

